

琉球列島の染織について 第一報

小林 孝子

Dyeing and Weaving in the Rhyukyus (1)

Takako Kobayashi

I はしがき

地域を異にし、気象が変わるとそれにつれて風俗が変化する。特に被服生活においては被服の色彩・形態の上に自然の及ぼす影響は極めて大きいと考えられる。例えば長い伝統に培われた美しさを誇る日本の染織の中でも、特に沖縄で作られたものには南国独特の豊かな美しい色彩がみられる。

しかし現在では科学技術の発達により、建築における冷暖房設備の普及や、航空機による時間的距離の短縮や、テレビなどの影響によって生活の地域差は大いに縮小されている。また被服の選択購入などには、繊維・化粧品の商社によって作り出される「流行」の影響もあってその差はさらに縮小されている。

このようなときにあたり、鹿児島県産の大島紬も、文様・色彩ともに現代の都会的嗜好に合わせて大いに変貌しているが、近距離にありながらも琉球は戦後の事情もあって、比較的他の地域の影響が少ないと考えられる。

私は日頃、南方独特の輝やくような色彩について興味をもっていたが、たまたま南方科学研究会の援助によって琉球列島の染織に接する機会を得たので、その調査結果を報告する。

ただし今回は、現在製作されている沖縄染の色票上の分布についてのみである。

II 調査について

1. 調査時期 昭和38年8月27日
2. 調査場所 沖縄那覇市首里の紅型製作所
3. 調査時の環境 午後1時～2時 温度 32°C 湿度 74%
照度 70,000～80,000lux
4. 調査事項 用布の色彩(色相・明度・彩度) その他数項
5. 調査方法 沖縄染の代表的な麻地藍^{ええがたうぶる}型 籠着尺・麻地藍型着尺・芭蕉糸入り木綿地藍型着尺・一越縮緬^{びんがた}白地紅型着尺、一越縮緬^{うちくい}黄色地紅型着尺・木綿白地紅型テーブルセンター・緯麻経木綿藍地筒描風呂敷(写真参照)の7種の用布について、測色部分を灰色画用紙の比色窓からのぞいて、Color Harmony Manual (C. C. A.) を用いて測定した。

表 1

色 相	麻地藍型 ^{見えがたうぶる} 着尺			麻地藍型着尺			芭蕉糸入り木綿地藍型着尺			一越縮緬白地 ^{びんがた} 紅型着尺			一越
	明・彩度	色名	染色部	明・彩度	色名	染色部	明・彩度	色名	染色部	明・彩度	色名	染色部	
2 Yellow							ca gc	※2 Lt Ivory Chamois	木綿糸部の地色 芭蕉糸部の地色				pc
3 Sunflower										nc	Amber	帆の一部	
5 Orange													ih
6 Vermilion													le
6½ Tomato Red													
7 Scarlet										pc ne ng pl	※2 Cherry Red Lt Wine Old Wine Burgundy	魚 帆の一部 帆・帆柱	pa
7½ Red													
8 Rose Red										ic	Rose	帆の一部	pc pg
9 magenta													ia
10 Fuchsia Purple										ig	Orchid Gray	魚の頭	ic pl po
11 Purple													
13 Ultramarine													pg ng
13½ Blue				pi pl	※1 Dk Blue Navy	葉・花 葉・花							nc pn
14 Blue	pg	※1 Dk Blue	地色				pl		文様部の染色	le pn	※3 Med Blue Midnight Blue	帆の一部	ne
15 Cerulean Blue	ie pn	Shadow Blue	花 花	pn		花の一部							
16 Peacock Blue				ie	Shadow Blue	地色							
18 Turquoise										pl		帆の一部	
19 Turquoise Green							po		文様のくまどり				
21 Emerald Green													nl
22 Green				nl pn	※1 Dk Pine Green ※1 Dk Green	菊の葉 菊の葉の緑							
23 Paris Green													ni
24 Lime Green													pn
無彩色	a	White	空間部	a	White	空間部				a	White	地色	a
										g	Gray	魚の一部	
										p	Black	波・魚の一部	p

表 1

縮型着尺	一越縮緬白地紅型着尺			一越縮緬黄色地紅型着尺			木綿白地紅型テーブルセンター			緯麻・経木綿藍地筒描風呂敷		
	明・彩度	色名	染色部	明・彩度	色名	染色部	明・彩度	色名	染色部	明・彩度	色名	染色部
糸部の地色				pc	Bright Gold	地色						
糸部の地色	nc	Amber	帆の一部				nc	Amber	鳥の羽	pa	※1 Sunflower	松・竹・梅の一部
				ih	Shadow Gray	しょうぶ葉の一部						
				le	Cedar Redwood	鳥の羽						
							pl	Deep Red Brown	鳥の頭・羽			
	pc	Cherry Red	魚									
	ne	※2 Lt Wine	帆の一部 帆・帆柱	pa	Scarlet	雲・花 鳥の一部	pa	Scarlet	鳥・鳥の一部	pi	※1 Dk Wine	松の枝
	ng	Old Wine								pl	Burgundy	松の枝の一部
	pl	Burgundy										
							pe	※ Dk Red Wine	鳥の頭・羽・腹水	nc	Strawberry	松・竹・梅
				pc	Rore Red	花・花芯・鳥の一部	pg	Garnet	笹・鳥の羽	ne	※2 Lt Wine	松・竹・梅の一部
	ic	Rose	帆の一部	pg	Wine	葉・羽の一部	ic	Rose	鳥の羽・首	ic	Rose	
							le	Rose Wine	鳥の羽	ig	Mauve Gray	
				ia	Orchid Rose	花・鳥の一部	lg	Rose Plum	鳥の首・腹			
	ig	Orchid Gray	魚の頭	ic	Orchid	しょうぶ花の一部 葉の一部						
				pl	Deep Plum							
							pl	Prune	鳥の頭・尾・羽			
				pg	※1 Dk Blue	波				na	Royal Blue	竹の一部
				ng	※3 Med Blue			pl	Navy	鳥の腹	nc	Royal Blue
										lg	Shadow Blue	松葉の一部
				nc	Strong Blue	花芯				pn	※1 Dk Navy	松・竹・梅の一部
				pn	※1 Dk Blue						pl	※1 Dk Blue
襟部の染色	le	※3 Med Blue	帆の一部									
	pn	Midnight Blue			ne	Strong Blue	鳥の尾・葉の一部	pl		笹の葉		
	pl		帆の一部									
靴のくまどり												
				nl	※1 Dk Jade Gray	松				pn	※1 Dk Green	松・梅の一部
							pn	※1 Dk Green	鳥の羽・水			
				ni	※1 Dk Palm Green	鳥の羽・広葉の一部						
				pn	Dk Green	しょうぶ葉・広葉の一部				pl	※1 Dk Green	竹
	a	White	地色	a	White	空間部	a	White	地色	a	White	輪郭
	g	Gray	魚の一部									
	p	Black	波・魚の一部	p	Black	鳥の目	P	Black	鳥のくちばし・足			

※1 Dk—Dark ※2 Lt—Light ※3 Med—Medium



芭蕉糸入り木綿地藍型着尺



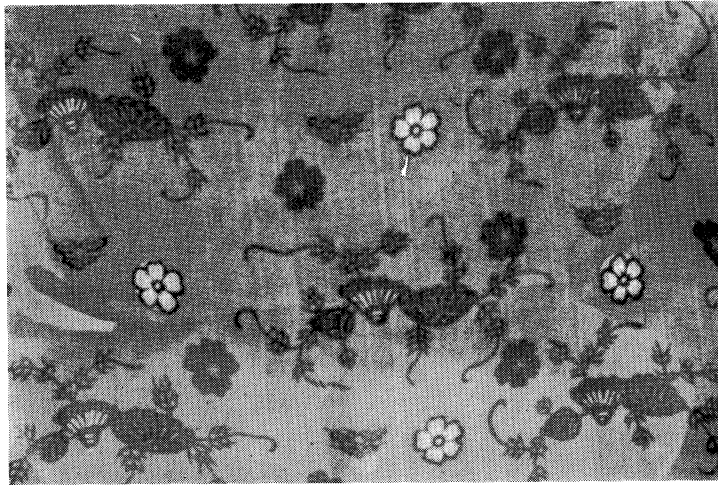
一越縮緬白地紅型着尺



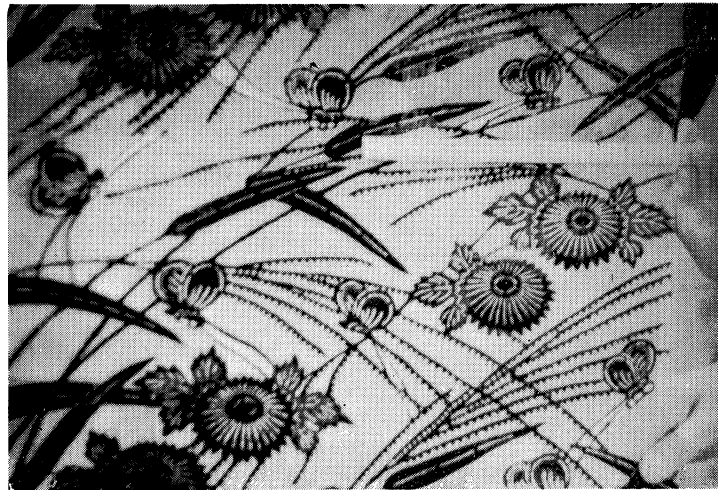
緯麻経木綿藍地筒描風呂敷



一越縮緬黄色地紅型着尺



麻地藍型朧着尺



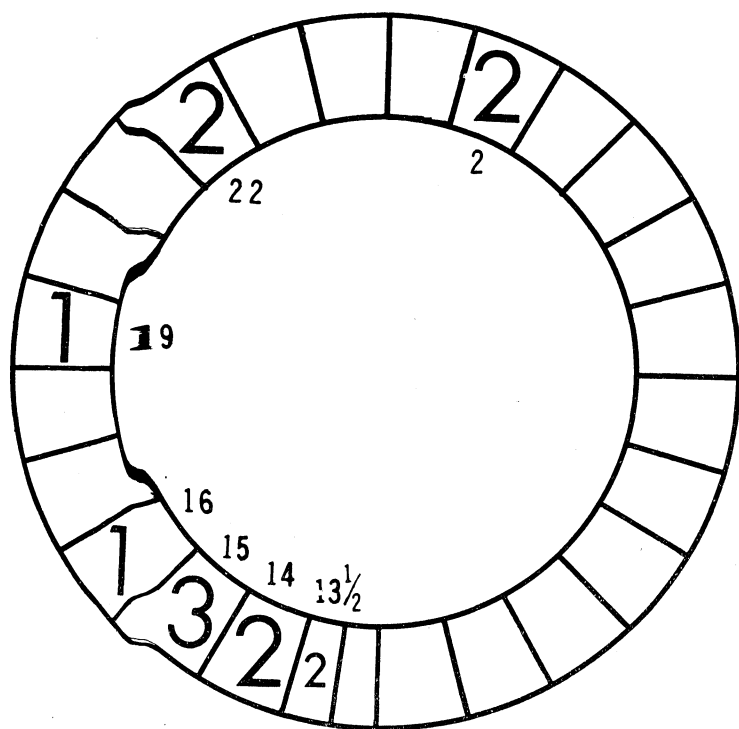
麻地藍型着尺



木綿白地紅型テーブルセンター

Ⅲ 調査結果

表1（折込表参照）は7つの用布についての色彩——色相・明度・彩度——を一覧に表示したものである。



← 図1のイ

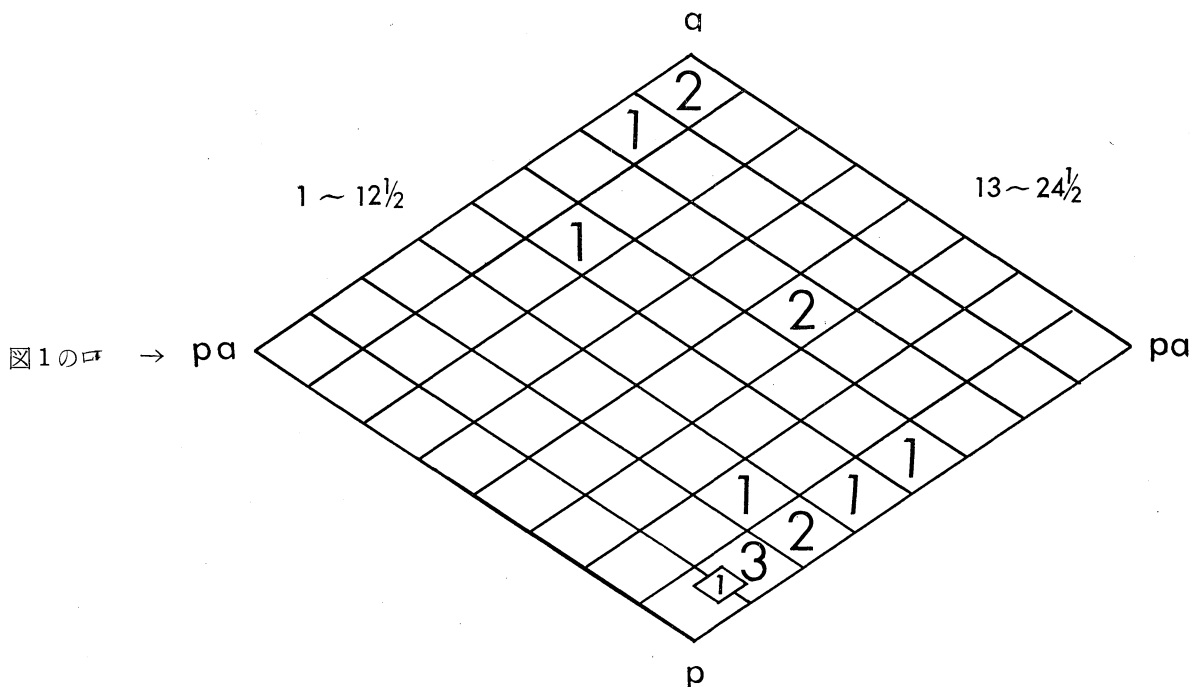


表2および図1によれば、藍型の色相は15が多く、明度・彩度は一体に低くてpnである。但し芭蕉糸入り木綿地、藍型は芭蕉糸入り部は2gc、木綿糸の部は2caで、文様の一部に特に濃い19poが使用されている。

表3は**びんがた**の色彩——色相・明度・彩度——を表示したものであり、2図のイは色相を、ロは明度・彩度を図示したものである。

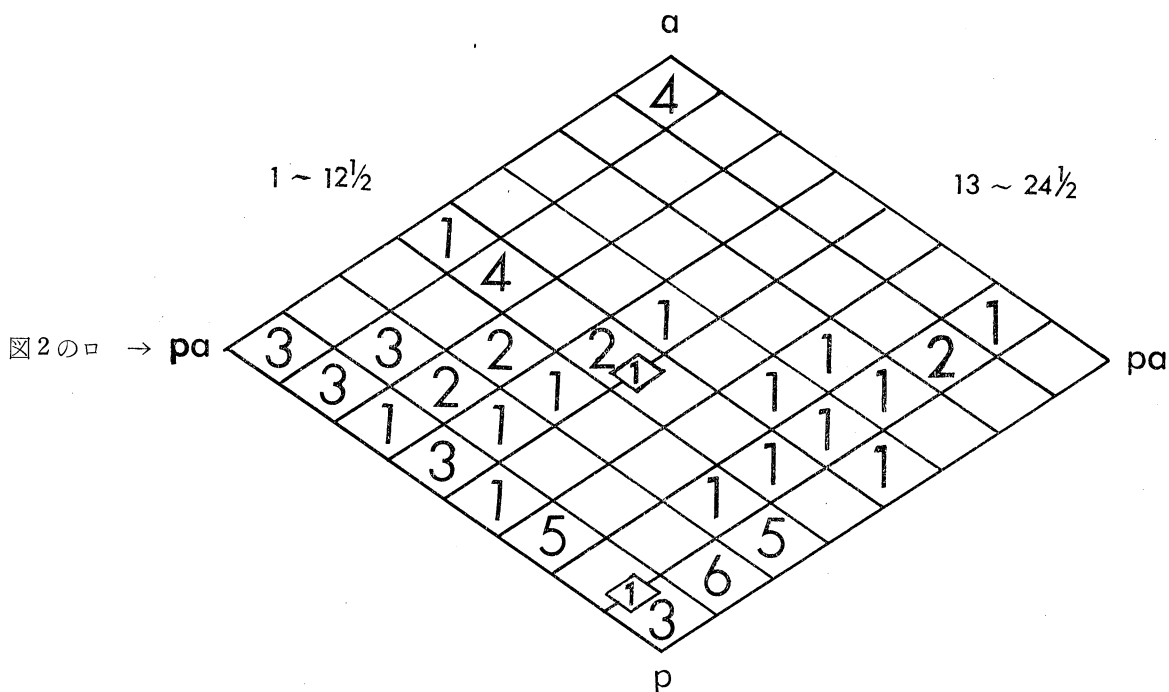
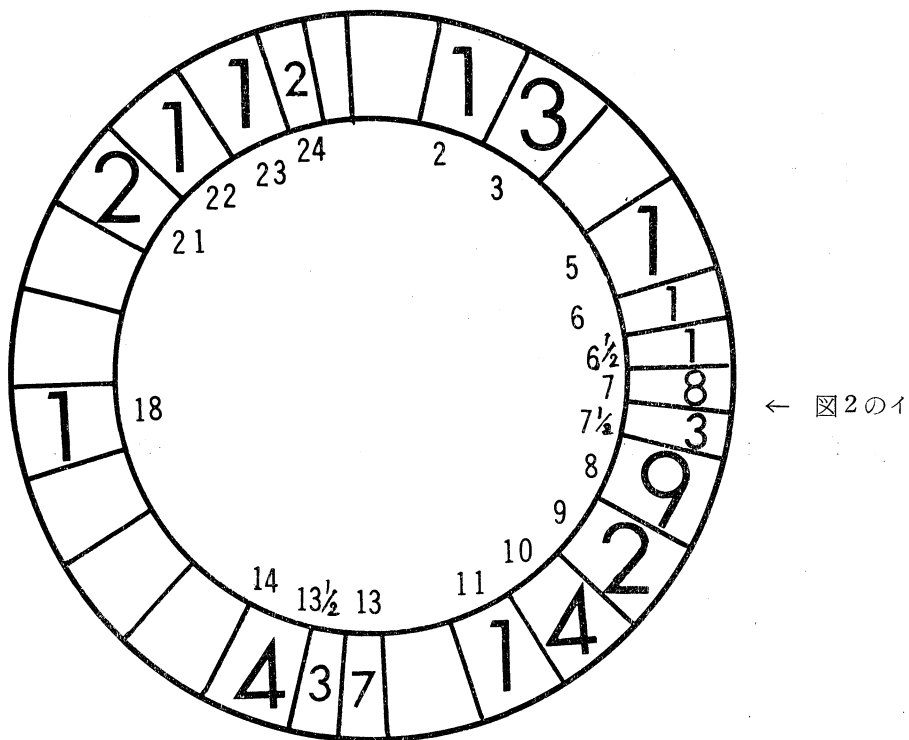


表3および図2によれば、紅型としては色相は8が最も多く次いで7である。明度・彩度は青色系では pl・pn に集まるものが多く、赤色系は pa・pc・nc・pg に集っている。

Ⅳ あとがき

以上、沖縄の染色について、主として色票上の分布について報告したが、つづいて次報はさらにこの染色に使用された色彩の面積について報告したいと思う。

この調査にご協力下さった紅型製作所の城間栄喜氏ご夫妻に深く感謝します。

Summary

This is a study on the distribution of colors used in Okinawa dyeing determined by the color scale.